

# デジタルカメラ「RICOH G900」 操作手順書

(黒板作成・連携ツール使用時)

EX-TREND武蔵の写真管理、黒板作成・連携ツール、デジタルカメラ「RICOH G900」でデータを連携して、電子小黒板機能付き工事写真を撮影する手順を解説します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。  
ご了承ください。

# 目次

## デジタルカメラ「RICOH G900」操作手順（黒板作成・連携ツール使用時）

---

1. 写真管理で工種分類を作成する	1
1-1 工種分類を作成する	1
2. 黒板作成・連携ツールで黒板データを作成する	2
2-1 黒板作成・連携ツールを起動する	2
2-2 黒板を作成する	4
2-3 黒板の情報を設定する	6
2-4 豆図を設定する	7
3. 黒板データをRICOH G900に転送する	9
3-1 USB接続で黒板データを転送する	9
4. 撮影した写真を写真管理に取り込む	12
4-1 USB接続で写真を取り込む	12
5. アルバムを作成する	15
5-1 作成条件を設定する	15
5-2 アルバムを作成する	17
5-3 アルバムを印刷する	18

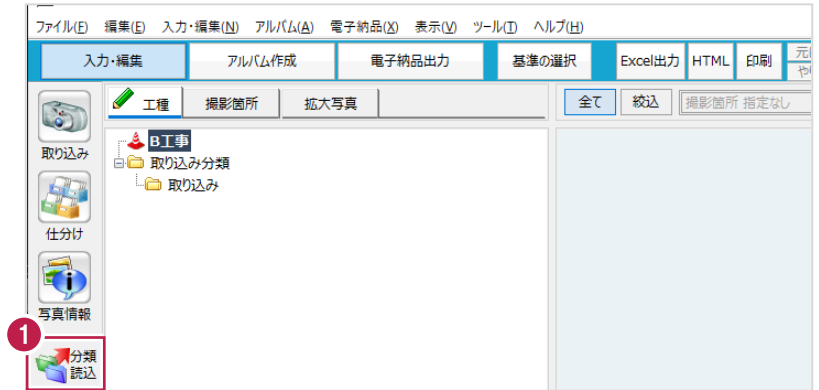
# 1

## 写真管理で工種分類を作成する

### 1-1 工種分類を作成する

EX-TREND武蔵の写真管理で使用する分類を用意しておきます。  
ここでは、工事テンプレートから読み込む例で説明します。

① [分類読込] をクリックします。

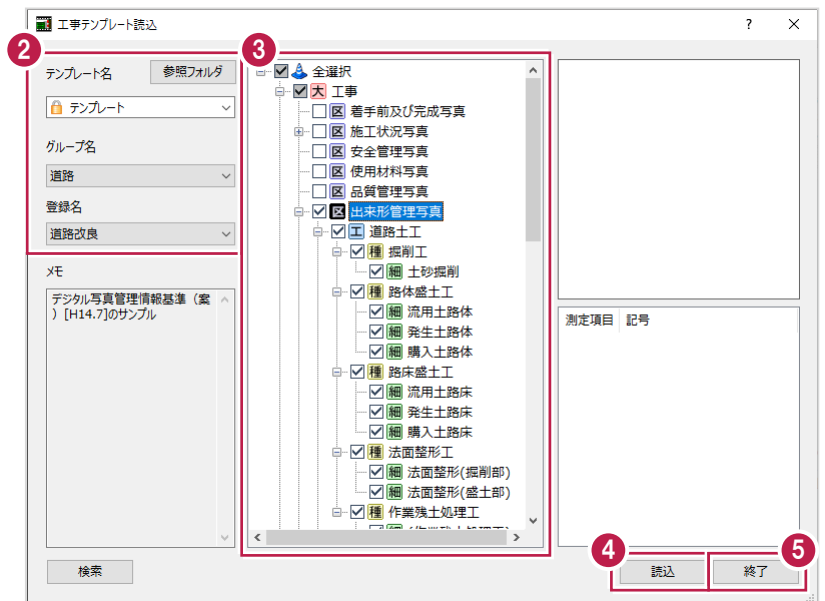


② [テンプレート名] [グループ名] [登録名] を選択します。

③ 読み込む分類をオンにします。

④ [読込] をクリックします。

⑤ [終了] をクリックします。  
分類が読み込まれます。



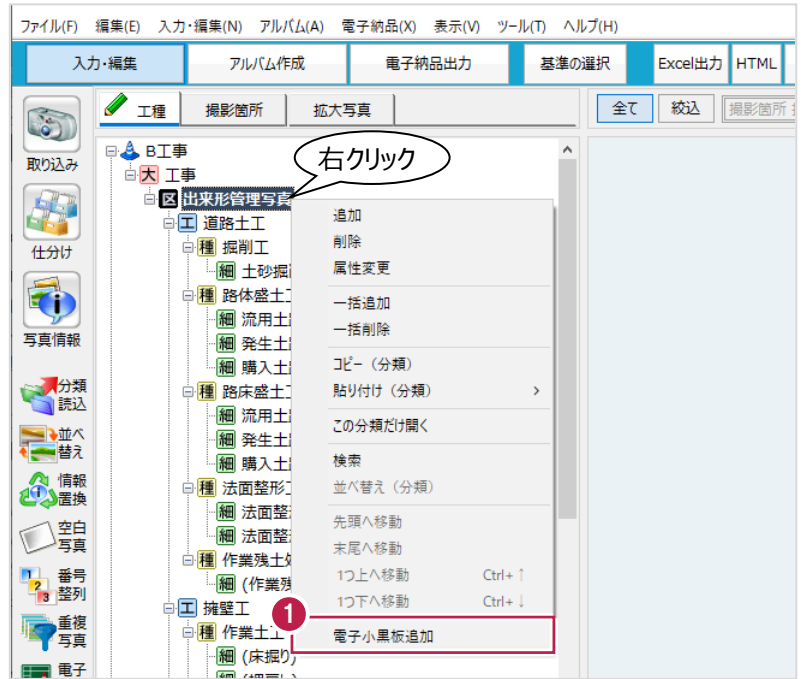
# 2

## 黒板作成・連携ツールで黒板データを作成する

### 2-1 黒板作成・連携ツールを起動する

写真管理から黒板作成・連携ツールを起動します。

- 1 分類ツリーで右クリックして [電子小黒板追加] をクリックします。



- 2 黒板作成・連携ツールをインストール後に初回起動する際は、初期設定を行います。

利用する撮影アプリ・機器は [RICOH G900] を選択します。

- 3 [作業開始] をクリックします。



- 4 工事内で初回起動する際は、工事名、河川路線名、受注者名を確認して [OK] をクリックします。

黒板作成・連携ツールに工事データが作成され、メイン画面が開きます。

**【工事名】**：工事情報の [工事名称] が反映されます。

**【河川路線名】**：工事情報の [河川路線名等] が反映されます。

**【受注者名】**：工事情報の [受注者名] が反映されます。

各項目は黒板の「工事名」「河川路線名」「受注者名」に連動します。

新規作成

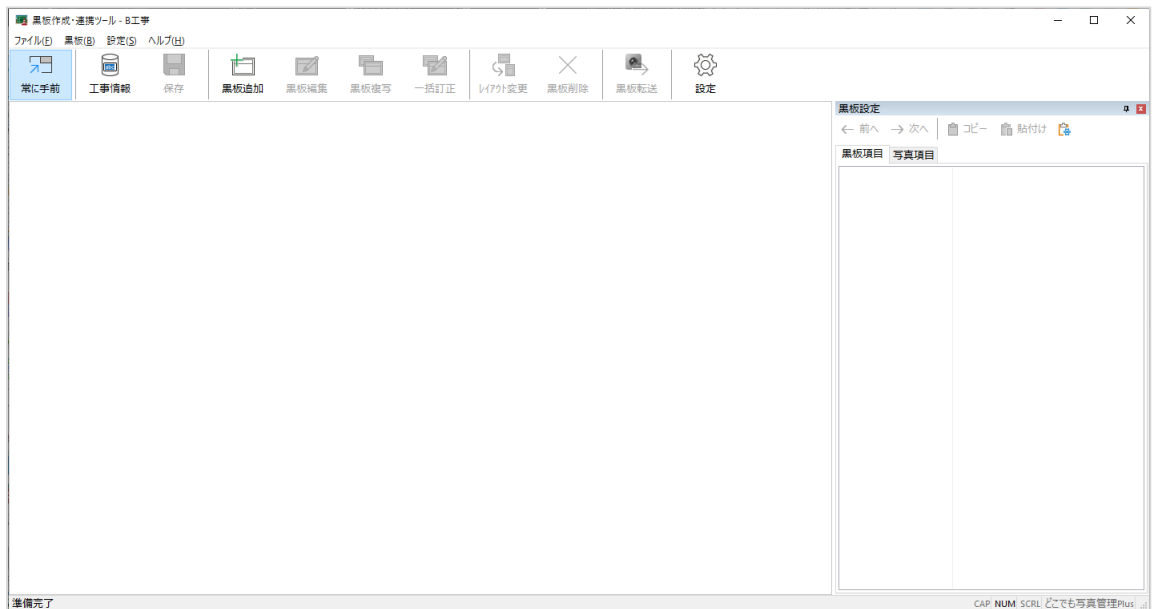
新しく工事データを作成し、作業を開始します。

工事名 B工事

河川路線名 B路線

受注者名 ××建設

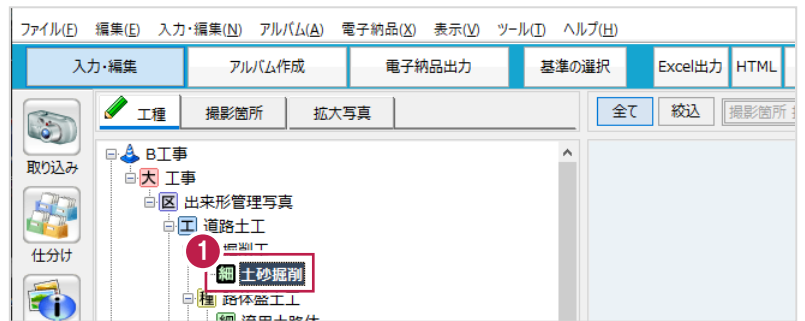
4 OK キャンセル



## 2-2 黒板を作成する

写真管理の分類や撮影箇所を利用して、黒板を作成します。

① 写真管理で分類を選択します。



② 黒板作成・連携ツールで [黒板追加] をクリックします。



③ 追加方法、追加黒板数を設定します。

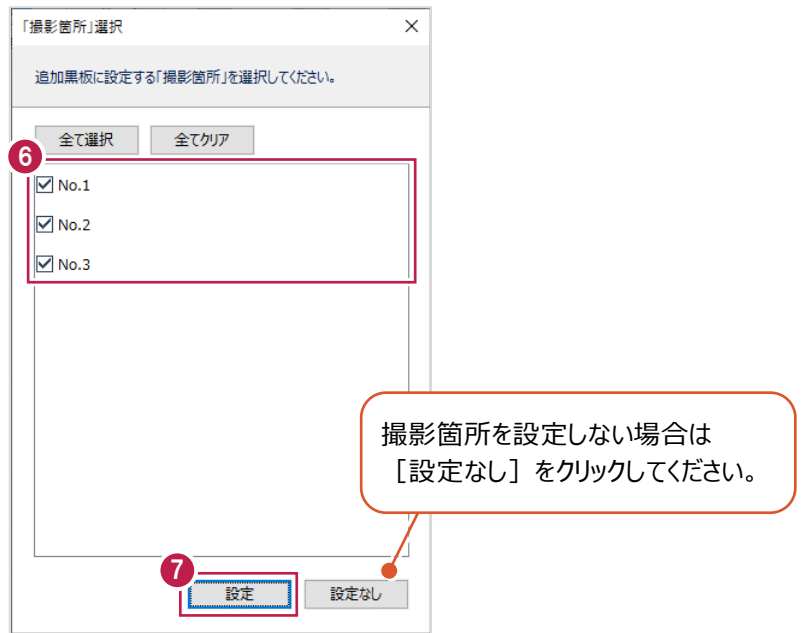
④ 黒板レイアウトを選択します。

⑤ [OK] をクリックします。



⑥ 写真管理に撮影箇所が登録されている場合は、黒板に撮影箇所を設定することができます。設定する撮影箇所をオンにします。

⑦ [設定] をクリックします。黒板が追加されます。

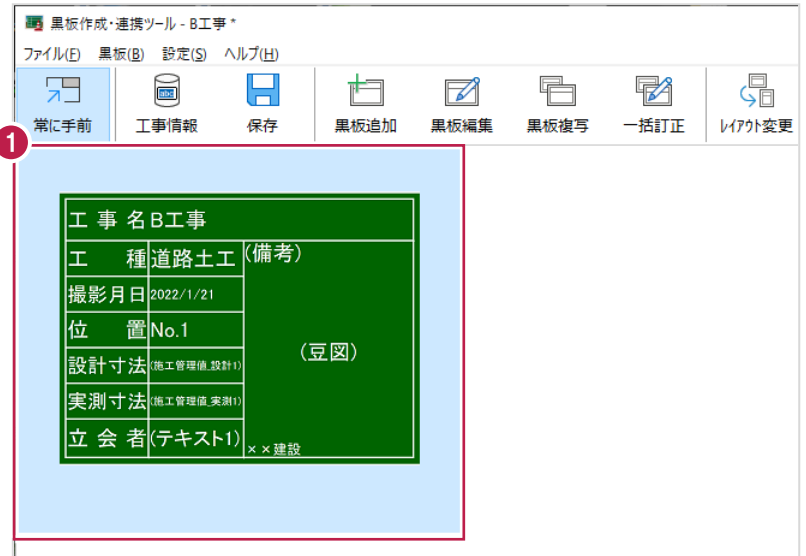


選択した分類の黒板が表示されます。黒板には分類と撮影箇所が反映されます。

## 2-3 黒板の情報を設定する

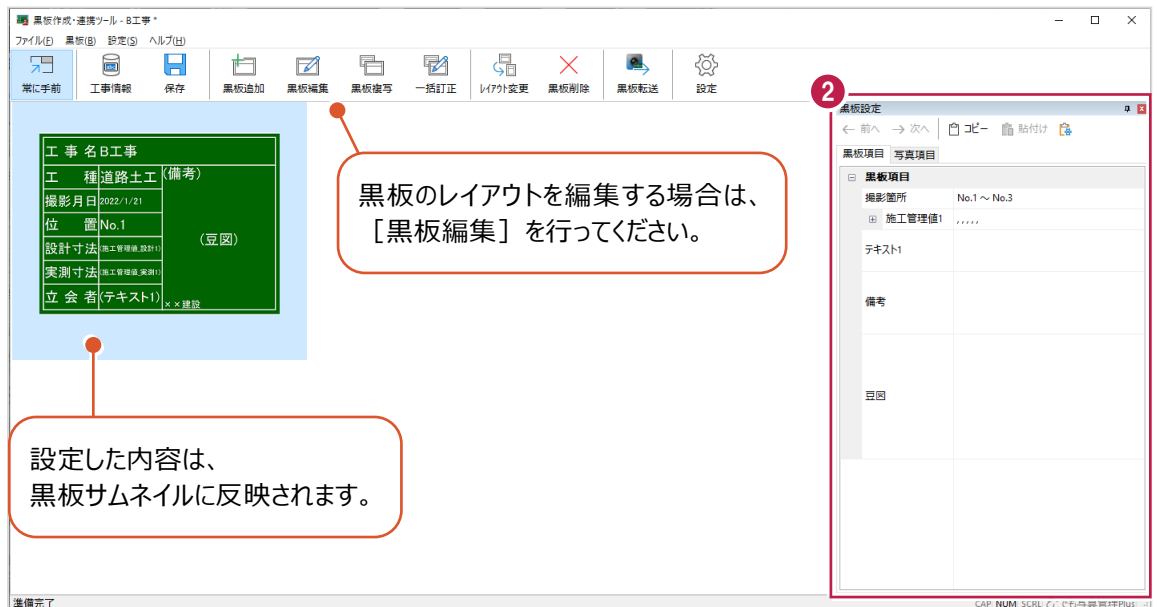
黒板の情報を設定します。

① 黒板を選択します。



② メイン画面右側の [黒板設定] で黒板の情報を設定します。

(詳細は黒板作成・連携ツールのヘルプを参照してください。)





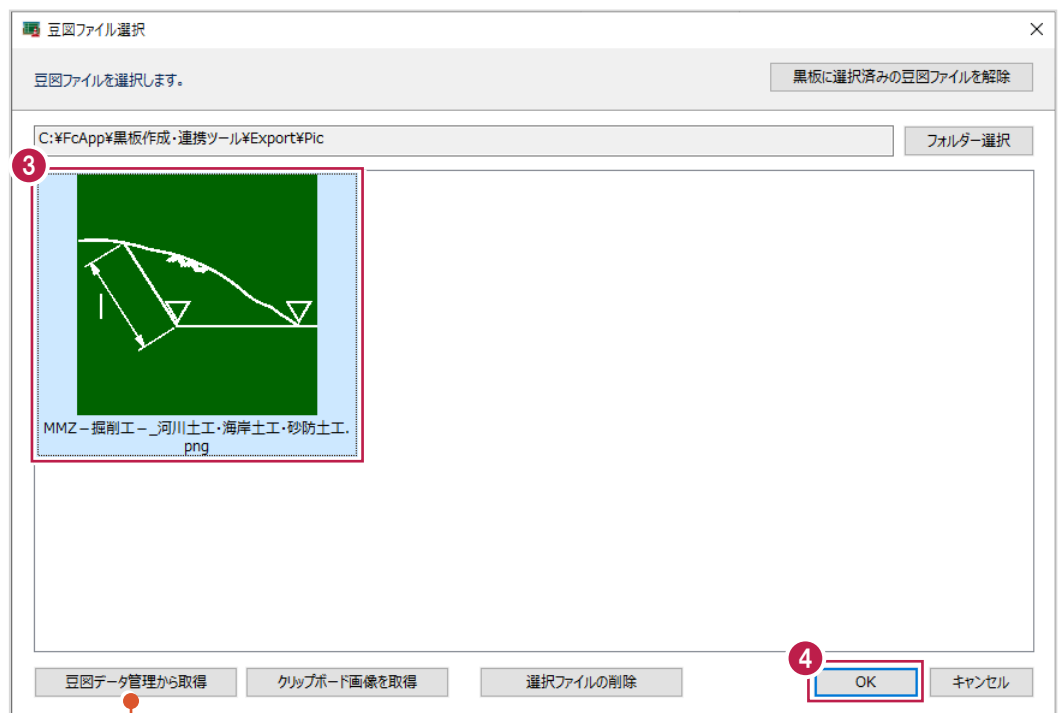
## 2-4 豆図を設定する

必要に応じて豆図を設定します。

- 1 [黑板設定] で [豆図] の項目をクリックします。
- 2 [...] をクリックします。



- 3 豆図を選択します。
- 4 [OK] をクリックします。



一覧に何も登録されていない場合は、  
[豆図データ管理から取得] から  
[豆図データ管理] を起動して豆図を  
取得してください。  
[豆図データ管理] での操作については、  
EX-TREND武蔵のヘルプ「豆図データ  
管理ウィンドウ」を参照してください。

黒板作成・連携ツール - B工事\*

ファイル(F) 黒板(B) 設定(S) ヘルプ(H)

常に手前 工事情報 保存 黒板追加 黒板編集 黒板複製

工事名	B工事
工種	道路土工(備考)
撮影月日	2022/1/21
位置	No.1
設計寸法	(施工管理値_設計1)
実測寸法	(施工管理値_実測1)
立会者(テキスト1)	××建設

豆図が設定されます。

黒板設定

← 前へ → 次へ | 白 コピー 貼付け

黒板項目 写真項目

黒板項目

撮影箇所	No.1 ~ No.3
施工管理値1	.....
テキスト1	
備考	

豆図

# 3

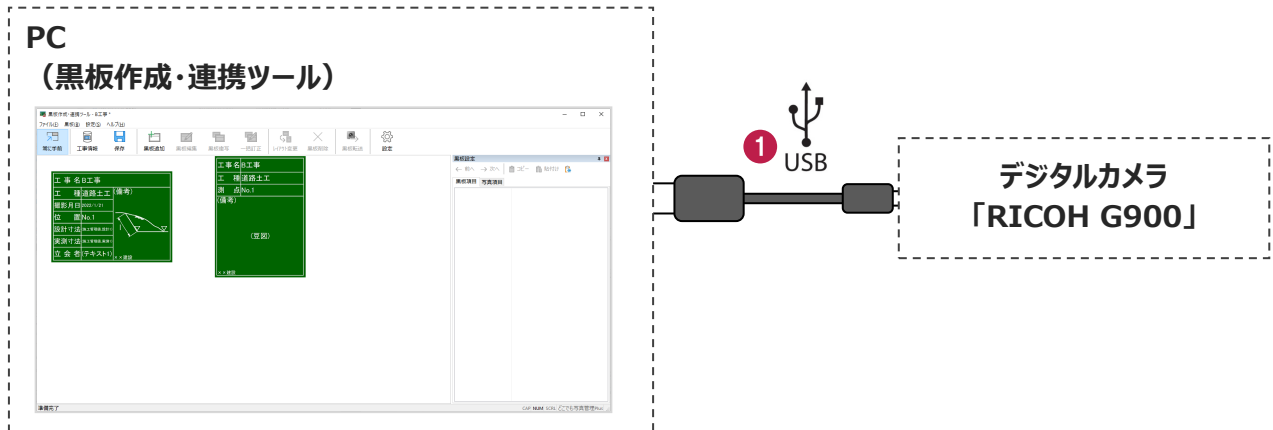
## 黒板データを RICOH G900 に転送する

必要な黒板データを作成したら、黒板データをデジタルカメラ「RICOH G900」に転送します。

### 3-1 USB接続で黒板データを転送する

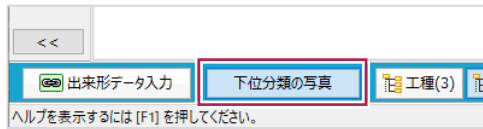
PCとデジタルカメラ「RICOH G900」をUSBケーブルで接続し、黒板データを転送します。

- ① PCとデジタルカメラ「RICOH G900」をUSBケーブルで接続します。



- ② 写真管理で分類を選択します。

下位分類の黒板をまとめて転送する場合は、  
「下位分類の写真」をオンにして黒板を  
表示してください。

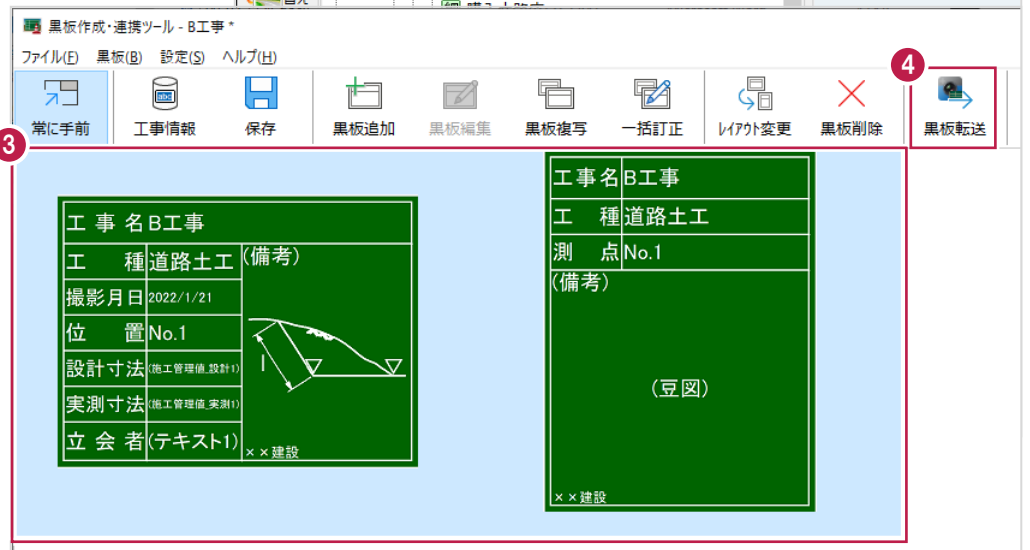


- ③ 黒板を選択します。

※ctrl キーで複数選択して  
転送することもできます。

- ④ 「黒板転送」をクリック  
します。

「設定」の「利用する  
撮影アプリ・機器」は  
「RICOH G900」を  
選択して操作してください。



5 [RICOH G900 へ転送] を選択します。

6 転送するファイル名を選択します。

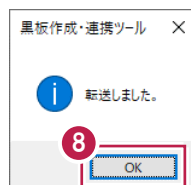
7 [OK] をクリックします。



8 転送を終えたら [OK] をクリックします。

以上で黒板データの転送は完了です。

PC とデジタルカメラ「RICOH G900」から USB ケーブルを抜いて切り離します。



## 補足 USB 接続で黒板データの転送が失敗する場合は

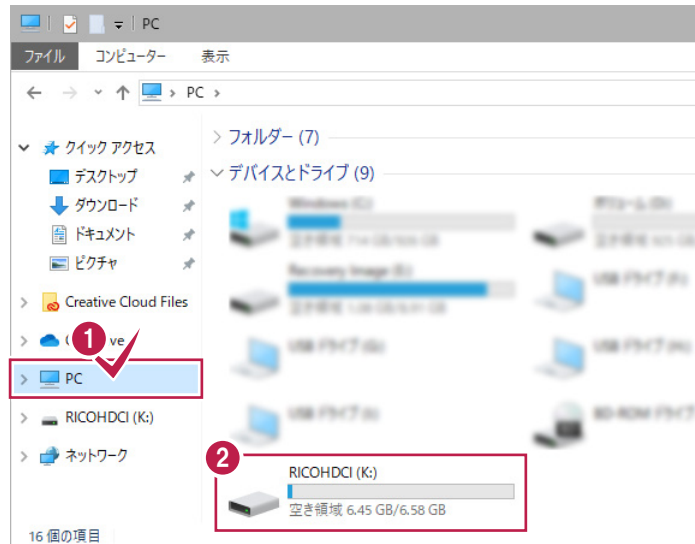
USBで接続したデジタルカメラ「RICOH G900」への黒板データの転送が失敗する場合は、次のことを確認してください。

- PC のエクスプローラーでデジタルカメラ「RICOH G900」内のファイルが確認できますか？

正しく USB 接続されている場合は、PC のエクスプローラーでデジタルカメラ「RICOH G900」内のファイルが確認できます。以下の操作で確認してください。

- ① USB 接続した状態で、PC のエクスプローラーを開き、「PC」をクリックします。

- ② [デバイスとドライブ] にデジタルカメラのストレージ（挿入している「SD カード名」、もしくは「RICOHDCI」、「RICOHDCX」）が表示されれば、正しく接続されています。



PCのエクスプローラーで

- ・デジタルカメラのストレージ（挿入している「SDカード名」など）が表示されない
- ・エクスプローラーでは正常に見えるが、転送に失敗する

などの場合は、以下を確認してください。

- デジタルカメラ「RICOH G900」の電源は入っていますか？

デジタルカメラ「RICOH G900」の電源がオフになっていると転送できません。

電源を入れてください。

- デジタルカメラ「RICOH G900」の設定 [USB 接続] は「MSC」になっていますか？

メモリーカードや内蔵メモリーの画像をパソコンにコピーするときは「**MSC**」を選択する必要があります。

- 正常な USB ケーブルで接続していますか？

「充電専用」の USB ケーブルでは転送できません。

また USB ケーブルの不具合の可能性もあるので、他の USB ケーブルで接続してください。

# 4

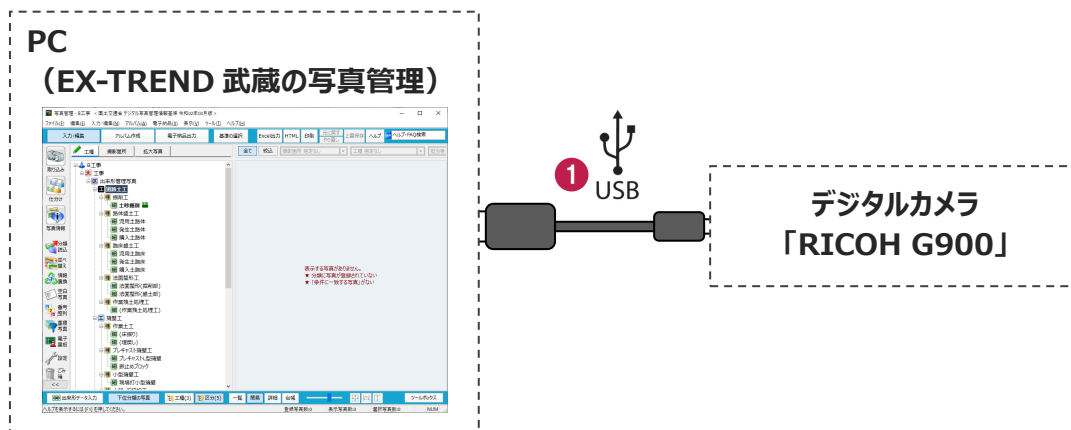
## 撮影した写真を写真管理に取り込む

撮影した写真を、EX-TREND武蔵の写真管理で取り込みます。

### 4-1 USB接続で写真を取り込む

PCとデジタルカメラ「RICOH G900」をUSBケーブルで接続し、EX-TREND武蔵の写真管理に写真を取り込みます。

- 1 PCとデジタルカメラ「RICOH G900」をUSBケーブルで接続します。

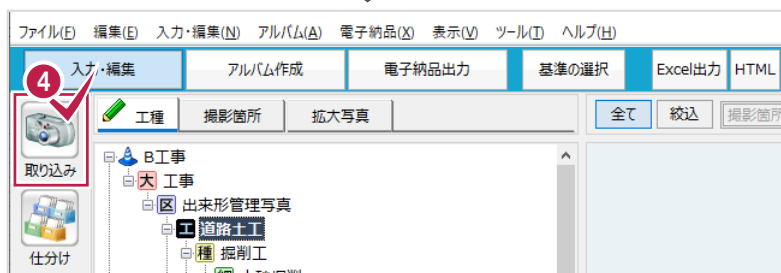


- 2 PCのエクスプローラーを開き、デジタルカメラのストレージ（挿入している「SDカード名」、もしくは「RICOHDCI」、「RICOHDCX」）をクリックします。



- 3 使用する写真をローカルにコピーします。

- 4 EX-TREND 武蔵の写真管理で、[取り込み]をクリックします。



5 [ファイル] をクリックします。

6 [自動振り分けする] をオンにします。

7 [OK] をクリックします。

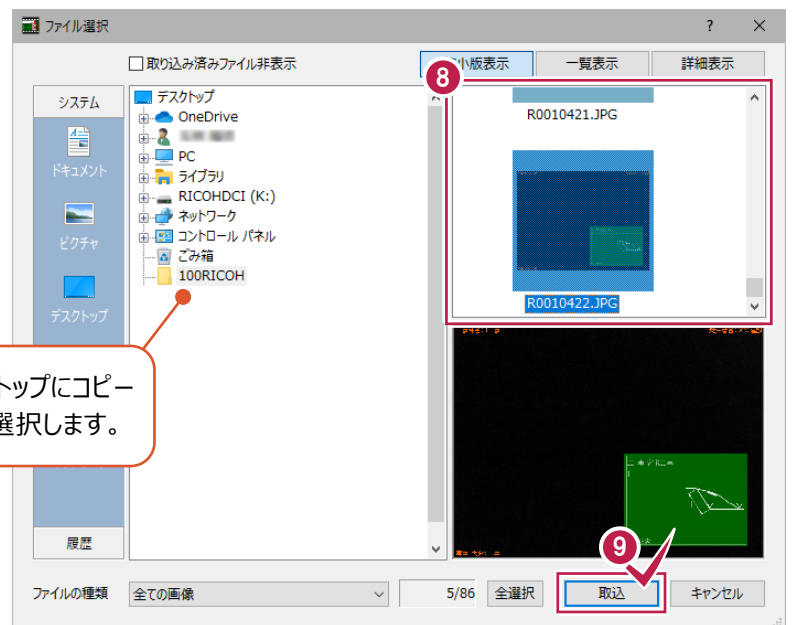


8 取り込むファイルを選択します。

9 [取込] をクリックします。

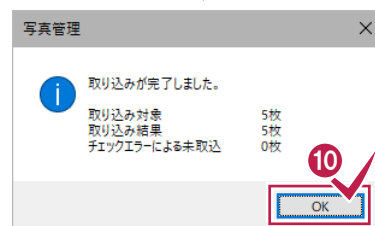
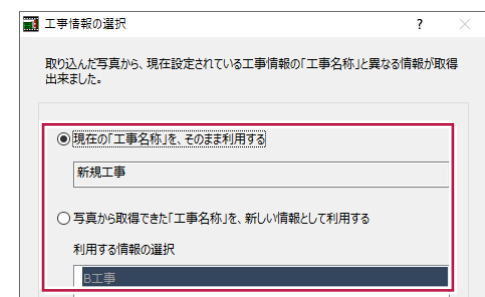
ここでは、デスクトップにコピーしたフォルダーを選択します。

10 取り込み完了のメッセージが表示されるので、[OK] をクリックします。



### 補足 工事情報の選択

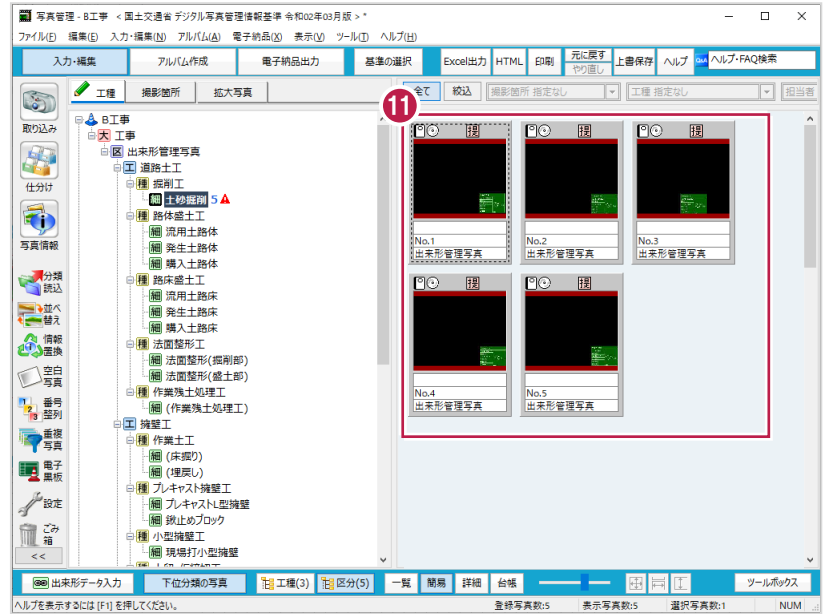
写真管理とどこでも写真管理Plusの「工事名称」や「受注者名」が異なる場合はダイアログが表示されます。どちらを利用するか選択してください。



11 写真が取り込まれます。

以上で写真の取り込みは完了です。

PCとデジタルカメラ「RICOH G900」からUSBケーブルを抜いて切り離します。





# 5

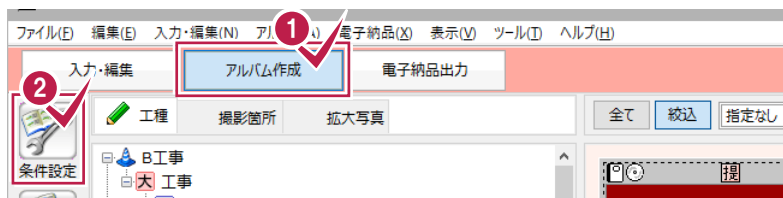
## アルバムを作成する

写真管理で作成条件を設定して、アルバムを作成します。（電子納品に必ず必要な操作ではありません。）

### 5-1 作成条件を設定する

作成するアルバムのフォーム、ページの区切り方法などを設定します。

① [アルバム作成] をクリックします。



② [条件設定] をクリックします。



③ [ページタイプ] は [任意] を選択します。

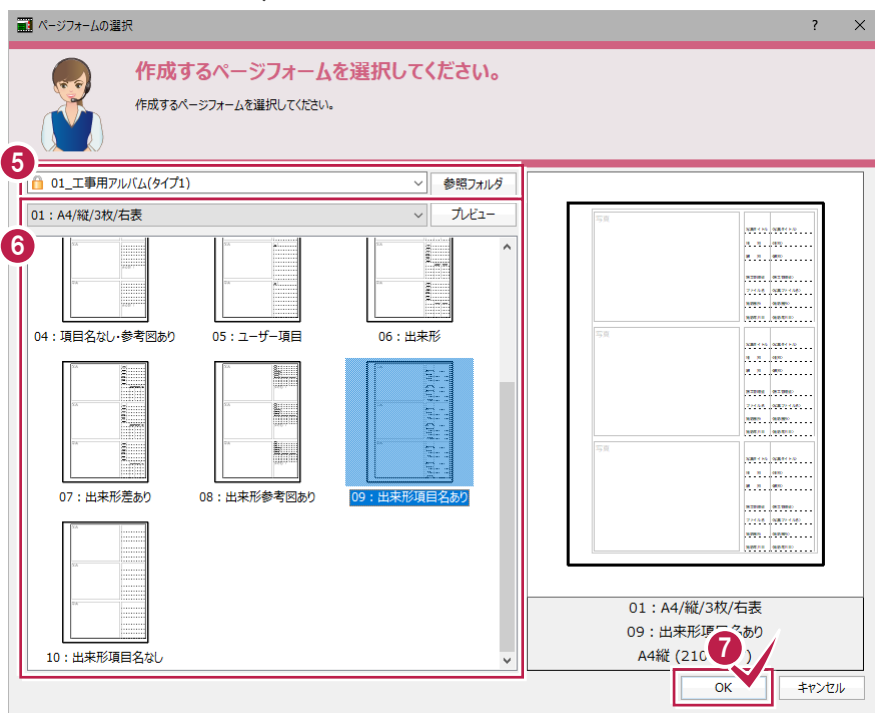


④ [ページ] をクリックします。

⑤ フォームが保存されているフォルダーを選択します。

⑥ ページのフォームを選択します。

⑦ [OK] をクリックします。



- 8 ここでは、[写真情報表と詳細表示の項目を連動]をオフ、[空の施工管理値表・参考図枠は非表示]をオフにします。

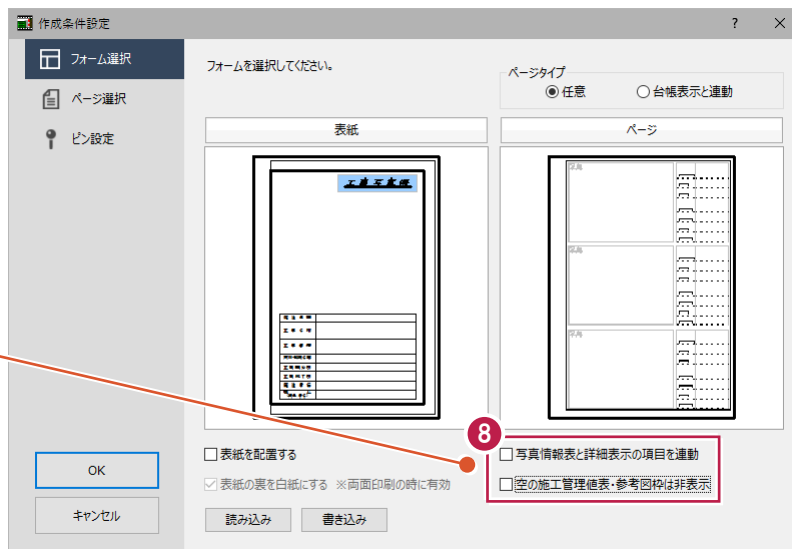
**【写真情報表と詳細表示の項目を連動】**

オンの場合、アルバムの写真情報表の項目が、写真管理の「詳細表示」または「台帳表示」で表示されている写真情報の項目に置き換わります。

**【空の施工管理値表・参考図枠は非表示】**

オンの場合、施工管理値の表や参考図が空白のとき、施工管理値表と参考図枠を出力しません。

オフの場合、施工管理値の表や参考図が空白でも、施工管理値表と参考図枠を空白のまま出力します。



- 9 [ページ選択] をクリックします。

- 10 ページの区切り方法、印刷方法を設定します。

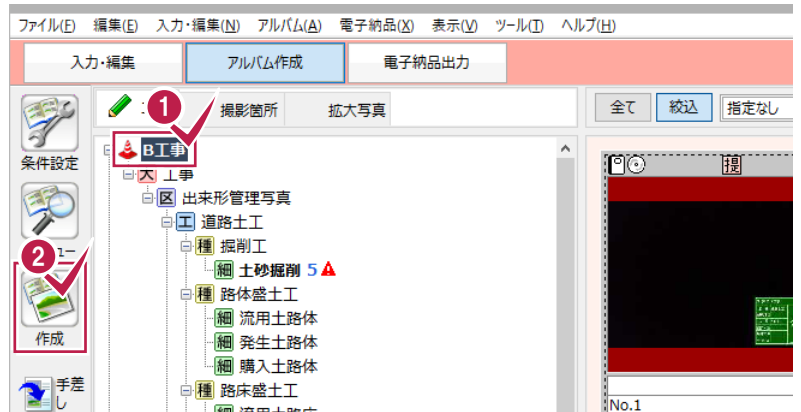
- 11 [OK] をクリックします。



## 5-2 アルバムを作成する

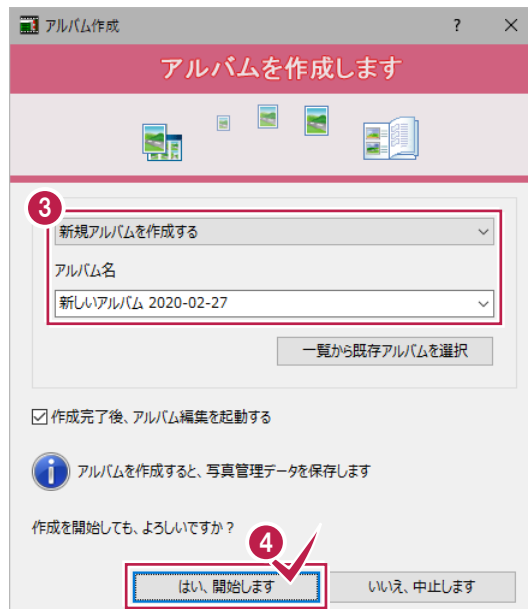
アルバムを作成します。

- 1 アルバムを作成する写真の分類を選択します。  
ここでは、工事名をクリックします。



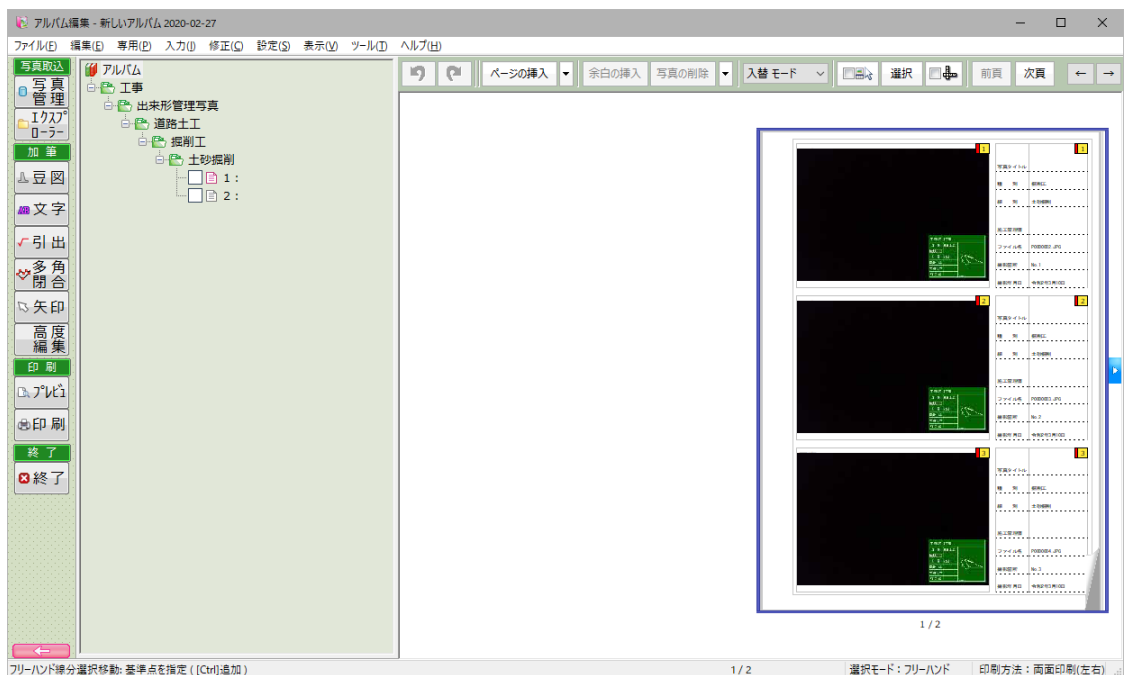
- 2 「作成」をクリックします。

- 3 「新規アルバムを作成する」を選択して、アルバム名を入力します。



- 4 「はい、開始します」をクリックします。

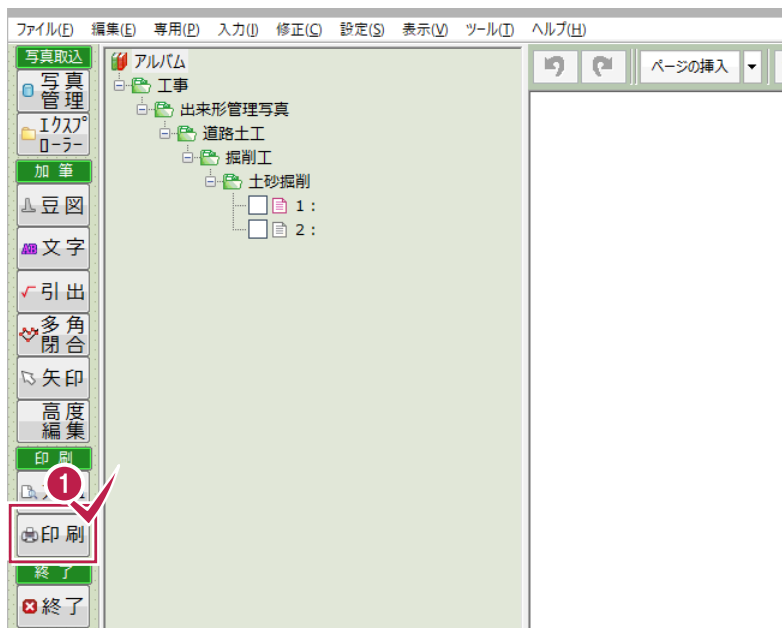
アルバムが作成され、[アルバム編集] が起動します。



## 5-3 アルバムを印刷する

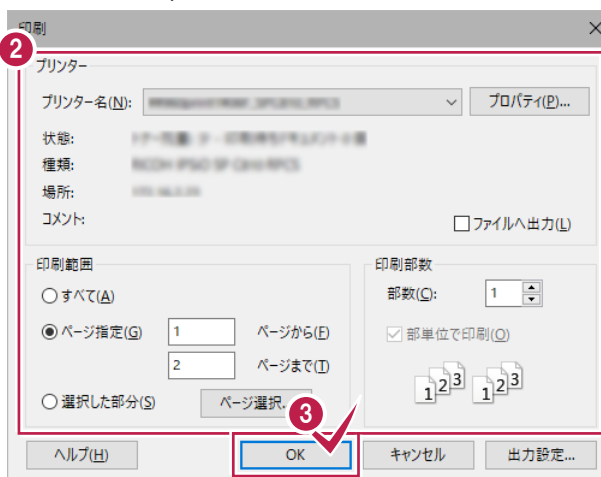
プリンター名、印刷範囲、印刷部数を設定して、アルバムを印刷します。

① [印刷] をクリックします。



② 使用するプリンター、印刷範囲、印刷部数などを設定します。

③ [OK] をクリックします。



アルバムの印刷に適用される印刷方法、開き方は、プリンターの設定に依存します。必ずプリンターの印刷設定をご確認ください。